

問

答

夏の深刻な気温上昇に対し、公立学校施設の体育館へ冷房設備は導入できないか。大規模改修とは別の方法による効果的な暑さ対策について情報収集をしており、適宜必要な対策を検討していく。



鹿角市人口ビジョンに関して

問

人口減少対策として子育て世帯が安心して暮らせるまちづくりが重要であるが、こども家庭庁が推進する「こどもまんなか応援サポート宣言」を鹿角市も行い、官民一体で子育て支援を進める考えはあるか。

答

市民や企業、団体と一緒に子育てを地域全体で支えていくといった機運を高めていくことは大変有意義であると考えるところから、こどもまん

医療体制に関して

問

小児科医療の縮小に伴い、入院や緊急時の対応が大館市立総合病院となっている。市として、通院や入院を余儀なくされる市民に対する支援や補助はあるのか。

答

これまで直接的な要望等は届いていないが、ニーズの把握が必要と考えている。地域の医療体制が縮小されることが予想されていく中で、集約化される医療への交通アクセスに対する施策について、今後予定している医療ビジョン策定の中で整理・検討していく。



録画配信はこちらから

奈良 明日香 議員（新時代かづの）

質問時間 30分

質問した項目

- 医療体制に関して
- 産婦人科問題に関して
- 鹿角市人口ビジョンに関して
- 教育現場に関して

問

答

上沼地区における風力発電計画について、住民への説明会開催状況は。これまで周辺地域への説明会は2事業者で計21回開催したほか、市議会や要請のあった団体へ計3回開催している。



米代川の鮎資源を活用した地域経済の振興について

問

今年大豊漁であった「米代川の鮎」を資源とした地域経済の振興、将来的なPR構想について伺う。

答

米代川の鮎の遡上数が今年は平年の5倍以上、釣り人も1日平均90人以上と報告されている。全国から人が訪れ一定の経済効果が生まれているが、天然鮎は流通が安定せず、市民が食べる機会が少ない。今後は漁協等と連携し、観光や地

鹿角市内の朝市（市日）の賑わい創出について

問

飲食ブース設置により観光客や若年層を呼び込む可能性について、市の見解は。また、県条例の運用について柔軟な対応や見直しを要望できないか。

答

市の定期市場条例では、飲食店の出店を禁止する規定は設けておらず、保健所で食品衛生法に基づく営業許可を取得するなど、必要な手続きを経れば出店は可能。関係事業者や出店者の声を踏まえ、地域振興の視点に立ち、必要に応じて県に意見や要望を伝えていく。



録画配信はこちらから

安保 真希 議員（無会派）

質問時間 30分

質問した項目

- 上沼地区における風力発電建設計画について
- 米代川の鮎資源を活用した地域経済の振興について
- 鹿角市内の朝市（市日）の賑わい創出について